

台風ハイエン被災地における マングローブ植林および 海洋森林経営を通じた高潮防止

Unit 1, 4th Floor, FASS Building,
11 Pittsburgh St.,
Cubao, Quezon City 1109
Philippines
<http://www.saophilippines.org>



ひろげる助成

3年目

実践



マングローブの樹丈を測定する漁業メンバー

マングローブ林の維持 5,000本

住民への啓蒙資料の配布 1,000部

今年度計画の達成度 90%

活動の全体目標に対する達成度 80%

苦労した点と工夫した点



■ 苦労した点

コミュニティの子どもや
児童が少なくトレーニング
に集まらなかったこと。

■ 工夫した点

学校関係者との調整を
行い、トレーニングを再実
施した。

課題

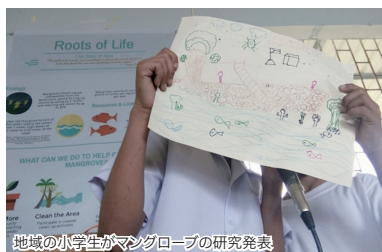
台風の被害を受けやすいパナイ島コンセプション町の沿岸沿いコミュニティにマングローブ林を造成し、高潮や強風によってもたらされるリスクを軽減する。

目標

海岸部にマングローブ林を造成し、その防波機能によりコミュニティを高潮から保護する。持続可能性担保のため、アクアシルビカルチャーを導入し、漁民の生計を支援する。

活動内容と成果

- マングローブ5,000本の生育・植樹
- マングローブ林(2.5ヘクタール)の造成(生存率99%)
- 地域の災害対策と環境保護の重要性について、地域の青少年及び住民(1,806人)に教育
- ニパ種の養殖場(960平方メートル)の建設・再建



地域の小学生がマングローブの研究発表

全助成期間の活動を振り返って

地球環境基金からの助成が初めてだったため、実施途中に多くの困難があったが、課題を乗り越えることで団体としてもコミュニティとしても多くのことを学んだ。



ニパ村の周りを囲むマングローブ林

今後の展望

本事業終了後も、ニパ小学校、漁業組合、バランガイ(フィリピンの地方自治単位)、町役場というコミュニティの主要なメンバーが、マングローブ林を管理し、養殖場のメンテナンスを行っていく予定だ。特に町役場が中心となって、今後の事業の進展を団体に記録・報告することになっている。